

議題「地域主体の文化支援について」概要

1. 目的

文化振興を図る上では、市民、団体、企業、大学などの各主体が、それぞれの役割を明確にしつつ、相互に連携していくことが重要であり、市の役割は、地域を構成する各主体のつながりを強化し、より発展的な文化活動ができるような仕組みを創出していくことであると考えています。

委員の皆様それぞれの立場からご意見をいただき、地域を構成する各主体のニーズを把握し、より効果的な施策に取り組んでいきたいと考えています。

2. 前回いただいた主なご意見

(1) 従来とは違う方向性の広報について

- 市民に知らせるために、広報を積極的にしてほしい。
- 市民の側も、情報を得ようという努力をするべきである。
- チラシを刷るといった従来の広報だけではなく、これからは、「いつも何か面白いことをやっている場所」というイメージ、空間感覚を文化施設やまちに定着させることが効果的である。
- 単なる事業のお知らせとしてではなく、ストーリー性を持ったものとして伝えると、すごいことをやっているというムードができ、多くの人に関心を持ってもらえるのではないか。
- たくさんの情報の中から、情報を選び出し、情報どうしを関連付けて、意味付けをして伝える「キュレーション」という手法が、市民を惹きつけるために重要である。

(2) 場の認知、見えないものを見えるようにするにはどうしたらよいかについて

- 行政は、「場所を開く」という役割を果たすべきである。
- 千葉市ならではの面白い活動場所の情報がほしい。
- 芸術家が活動・発表する場、芸術家に出会える場作りを検討してほしい。
- 芸術家が活動・交流する機会や空間を行政が提供すれば、芸術家たちの存在や活動が目に見えるようになり、そこにサポートする人たちが集まってきて、厚みのある文化が生まれる環境ができるのでは。